

國民健康保險法中改正法律の一部施行期日の件等の公布

昭和十七年法律第三十九號國民健康保險法中改正法律の一部施行期日の件並に國民健康法に附帶する一部細目規定の件については昭和十七年十二月十日付官報を以て左の如く公布せられた。

昭和十七年法律第三十九號國民健康保險法中改正法律の一部施行期日ノ件
(昭和十七年十二月九日 勅令第八百二十七號)

昭和十七年法律第三十九號中第十九條ノ二乃至第十九條ノ五ノ規定並ニ第二十一條、第四十二條、第四十六條及第四十九條ノ改正規定ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十九條ノ三及第十九條ノ五ノ規定實施ノ爲ニ豫メ必要ナル範圍内ニ於テハ昭和十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

國民健康保險法第十九條ノ三ノ規定ニ依ル保險醫又ハ保險藥劑師ノ指定及同法第十九條ノ五ノ規定ニ依ル費用ノ請求額ニ關スル件
(昭和十七年十二月九日 勅令第八百二十八號)

第一條 地方長官ハ道府縣醫師會長、道府縣齒科醫師會長又ハ道府縣藥劑師會長ノ意見ヲ聽キ保險醫又ハ保險藥劑師ヲ指定スベシ
 保險醫又ハ保險藥劑師ガ療養ノ給付ヲ擔當スルノ責務ヲ怠リ其ノ他保險醫又ハ保險藥劑師トシテ不適當ト認ムベキ事由アルトキハ地方長官ハ前項ノ指定ヲ

取消スコトヲ得

第二條 保險醫若ハ保險藥劑師又ハ之ヲ使用スル者ガ療養ノ給付ニ關シ國民健康保險組合又ハ國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ法人ニ請求スベキ費用ノ額ハ厚生大臣ノ定ムル所ニ依リ國民健康保險組合又ハ國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ法人之ヲ算定ス
 厚生大臣前項ノ規定ニ依リ定メ爲サントスルトキハ日本醫師會長、日本齒師會長又ハ日本藥劑師會長ノ意見ヲ聽クベシ

附則

本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本令實施ノ爲ニ豫メ必要ナル範圍内ニ於テハ同年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

國立健康保險療養所官制の公布

國立健康保險療養所官制ハ昭和十八年一月十八日付官報を以て左の如く公布せられた。

國立健康保險療養所官制
(昭和十八年一月十六日 勅令第二十三號)

第一條 國立健康保險療養所ハ厚生大臣ノ管理ニ屬シ健康保險被保險者ノ療養ニ關スルコトヲ掌ル
 第二條 國立健康保險療養所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長	專任一人	奏任
醫官	專任四人	奏任
事務官	專任一人	奏任
書記	專任三人	判任
醫官補	專任二人	判任
調劑官補	專任一人	判任

看護婦長 專任一人 判任

第三條 所長ハ醫官ヲ以テ之ニ充ツ厚生大臣ノ指揮監督ヲ承ケ所務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス
 第四條 醫官及醫官補ハ上官ノ命ヲ承ケ患者ノ療養ヲ掌ル
 第五條 事務官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル
 第六條 書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
 第七條 調劑官補ハ上官ノ命ヲ承ケ調劑ニ従事ス
 第八條 看護婦長ハ上官ノ指揮ヲ承ケ看護ニ従事ス
 第九條 國立健康保險療養所ノ名稱及位置ハ厚生大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

賃金統制令施行規則に關する厚生省告示

官吏に對する家族手當の増額に伴フ賃金統制令關係法規の改正は昭和十八年一月二十六日付官報を以て左の如く告示せられた。

厚生省告示第三十一號

賃金統制令施行規則第二十一條第一號ノ規定ニ依リ賃金統制令第十四條第一項ノ賃金ニ含まザル手當ヲ左ノ通指定ス但シ第三號ノ手當ハ地方長官又ハ鑛山監督局長ノ承認ヲ受ケタルモノニ限ル
 昭和十六年九月厚生省告示第四百五號ハ之ヲ廢止ス
 一 應召中又ハ入營中ノ勞務者ニ對シ支給スル手當
 二 國民徵用令ニ依リ徵用セラレタル勞務者ニ對シ支給スル手當

三 稼働率及能率増進ノ爲ニスル手當
四 家族手當

勞務者ニ對シ其ノ配偶者（届出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム）又ハ本人ト同一戸籍内ニ在ル滿六十歳以上ノ直系尊屬、滿十八歳未滿ノ直系卑屬及弟妹若ハ不具發疾者ニシテ主トシテ本人ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スルモノ一人ニ付月額五圓ノ割合ニ依リ計算シタル金額以內ニ於テ支給スル手當

〔參照〕

昭和十六年 九月十日 厚生省告示第四百五號ハ本號ト同伴ナリ

厚生省告示第三十二號

賃金統制令施行規則第十三條第三號ノ規定ニ依リ賃金統制令第十條第二項ノ賃金ニ含まザル手當ヲ左ノ通指定ス但シ第二號、第三號、第四號又ハ第五號ノ手當ハ地方長官又ハ鑛山監督局長ノ承認ヲ受ケタルモノニ限ル昭和十六年七月 厚生省告示第三百十三號ハ之ヲ廢止ス

一 家族手當

勞務者ニ對シ其ノ配偶者（届出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム）又ハ本人ト同一戸籍内ニ在ル滿六十歳以上ノ直系尊屬、滿十八歳未滿ノ直系卑屬及弟妹若ハ不具發疾者ニシテ主トシテ本人ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スルモノ一人ニ付月額五圓ノ割合ニ依リ計算シタル金額以內ニ於テ支給スル手當

二 季節手當

特定ノ作業ニ對シ季節ヲ限リ支給スル手當

三 臨時作業手當

臨時ノ作業ニ對シ支給スル手當

四 特殊作業手當

特殊ノ作業ニ對シ支給スル手當

五 稼働率及能率増進ノ爲ニスル手當

六 初任手當

通勤手當、下宿手當、住宅手當其ノ他必要已ムラ得ザル手當ニシテ就業一日ニ付男子職工三十錢、女子職工二十錢、男子鑛夫五十錢、女子鑛夫三十錢以內ニ於テ支給スル手當

〔參照〕

昭和十六年 七月二十六日 厚生省告示第三百十三號ハ本號ト同伴ナリ

米麥検査令の公布

米麥検査令は昭和十七年十二月二十四日付官報を以て左の如く公布せられた。なほ同令施行規則も同日付官報を以て公布せられた。

米麥検査令（昭和十七年十二月二十三日勅令第八百四十七號）

第一条 米麥ノ生産者又ハ土地ニ付權利ヲ有シ小作料トシテ之ヲ受クル者ハ其ノ生産シ又ハ小作料トシテ

受ケタル米麥ニシテ食糧管理法第三條第一項ノ規定ニ依リ政府ニ賣渡スベキモノノ種類、銘柄、品位、量目及包装ニ付食糧検査所ノ検査ヲ受クベシ但シ第二條第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケタル米麥其ノ他農林大臣ノ指定スル米麥ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二条 前條ノ者ハ同條ノ規定ニ依リ検査ヲ受クベキ

米麥以外ノ米麥ヲ引渡サントストルトキハ農林大臣ハ

定ムル所ニ依リ其ノ種類、銘柄、品位、量目及包装ニ付食糧検査所ノ検査ヲ受クベシ販賣組合、農業倉庫業者其ノ他農林大臣ノ指定スル者其ノ所有シ又ハ占有スル米麥ヲ引渡サントストルトキ亦同ジ

前項ノ規定ニ依ル検査ハ同項ノ規定ニ依リ既ニ検査ヲ受ケタル米麥其ノ他農林大臣ノ指定スル米麥ニ付テハ之ヲ受クルコトヲ要セズ

第三条 食糧検査所長ハ第一條又ハ前條第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケタル米麥ニ 農林大臣ノ定ムル印章、記號又ハ證票ヲ附ス

第四条 前條ノ規定ニ依ル印章、記號又ハ證票ノ毀損抹消、除却又ハ隠蔽ニ係ル米麥ニ付テハ第一條又ハ

第二条第一項ノ規定ニ依リ更ニ検査ヲ受クルコトヲ要ス

第五条 本令ニ規定スルモノノ外検査ニ關シ必要ナル事項ハ農林大臣之ヲ定ム

附則

本令ハ昭和十七年十二月二十五日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前廳府縣令ニ依リ検査ヲ受ケタル米麥ハ之ヲ第一條又ハ第二條第一項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケタルモノト看做ス
前項ノ場合ニ於テ廳府縣令ニ依リ附シタル印章、記號又ハ證票ハ之ヲ第三條ノ規定ニ依リ附シタル印章、記號又ハ證票ト看做ス

食糧管理法の一部施行期日の件公布

食糧管理法の一部施行期日の件は昭和十七年十二月二十四日付官報を以て左の如く公布せられた。